

水だよ!!

高松

第27号

発行2013年1月

謹賀新年



高松市上下水道工事業協同組合

〒760-0018 香川県高松市天神前5番30号
TEL 087-831-5633(代) FAX 087-861-9921

PRINTED WITH
SOY INK

再生紙を使用

年頭所感

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には健やかに平成25年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、組合員はもとより、関係行政・諸団体ほかの多勢の方々に大所高所から温かいご支援、ご教示のもと組合事業を無事推進できましたこと、心から深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、ご承知のとおり、我々業界の経営環境は長期の経済低迷が起因とする財政事情の悪化、それに加え一昨年の東北三県を中心とした地震、津波、原発被災に対する災害復旧投資が先になり、それに伴い地方公共投資額の縮減、またこれに追随して民間設備投資の大幅減少をまもともに受けた過去に経験したことの無い厳しい状況下にありました。

これを踏まえた不安感の表れか、いわゆるダンピングとも思われるような過当な競争等の噂が巷で横行し、我々業界の健全な発展を阻害する一因にもなっています。

私はこの状態化している現状に対処していくには、今こそ組合員に一番重要な「和と協調」の理念

高松市上下水道工事業協同組合

理事長 中川 悟



従い、お互に心を合わせ團結し、立ちはだかる諸問題を一つ一つ辛抱強く解決して参る以外にないものと思念しております。

幕末の志士「勝海舟」先生の座右の銘としてしられております「自處超然(じしょちょうぜん)」「處人藹然(じょじんあいぜん)」…一段高いところから見下して何事にもとらわれず自分に厳しく、また人に接してはなごやかでやさしく…と言う意味であります。これにあやかり、この言葉を私なりに心の指針として、引き続き組合員並びに高松市上下水道工事業協同組合の更なる発展のため、鋭意努力して参りたいと考えております。

今後ともなお一層のご指導・ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

結びにあたり、今年が災禍のない平穏な一年になりますとともに、皆様方のますますのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

耐震管布設・老朽管更新で「全安心の社会へ

全国管工事業協同組合連合会

会長 大澤 規郎



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、我が国経済は、海外経済の減速や日中関係の悪化による輸出の減少に加え、これまで景気を下支えしてきた公共投資等による内需が再び後退局面に入り、リーマン・ショック以来、3年半ぶりに景気の基調判断も悪化に下方修正されております。

また、建設業においては、東日本大震災からの復興需要により一部に活況を呈しておりますが、復旧・復興事業費を除く2012年度の政府建設投資は東日本大震災以前よりも減少しており、被災地域においては、自治体職員不足による予算執行の遅れや、労働者不足及び労務費、資材費等の高騰による入札の不調などの問題が発生しております。

一方、2013年度は、海外景気の回復に伴う外需の持直しや、消費増税前の駆込み需要にある程度下支えされる見込とされていますが、政府には住

でも上向くよう対応してまいります。

まず、水道施設の耐震化についてですが、厚生労働省水道課における水道施設の耐震化に関する予算確保に尽力されるとともに、水道施設の耐震化に関する広報活動を水道界全体としてより効率的・効果的に行うこと目的とした「水道耐震化推進プロジェクト」が厚生労働省を中心に設立されるなど、行政においては水道施設の耐震化をより加速させる方向性を明確に打ち出しております。全管連

としましても、このプロジェクトに積極的に参画し、現在の耐震化促進の流れを後押ししてまいります。

また、発災時の応急復旧活動に対しましては、東日本大震災での教訓を「地震等緊急時における応急復旧工事対応マニュアル」に反映させるべく、2つのワーキンググループを立ち上げ検討を重ねており、今後、日本水道協会との調整を経て、今年度中にはマニュアルの改訂版を発刊することとしております。

次に、社会保険未加入対策についてですが、行政においてはすでに関係法令を改正・施行するなど問題解決に向けた動きを推進しており、全管連におけるところであります。全管連といたしましても数々の施策を講じることで、会員企業の経営状況が少し

いても社会保険加入推進計画並びに法定福利費確保のための標準見積書を昨年10月に作成し、国土交通省へ提出するなど、加入徹底に向けた取り組みを進めています。しかしながら、発注者・元請等の対応において現状では先行き不透明なこともあります。さらには、会員企業への負担が予想される施策であります。今後は、関係団体とも十分な連携を図りながら慎重に進めてまいりますので、会員各位におかれましても、ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

さて、今年の総会及び大会等は、中国ブロツク鳥取県支部の鳥取県管工事業協同組合連合会(会長・松谷信男氏)に担当いただきます。開催地となる米子市は、鳥取県の西部に位置する豊かな自然に囲まれた人口15万人余の都市であり、名水の郷としても名高く、その水道水は厚生労働省の「おいしい水研究会」において、全国32市のひとつにも選ばれております。江戸期には伯耆国十八万石の城下町として栄え、現在はアクセス環境の良さから山陰の玄関口としてさらなる発展を続けている「商都米子」。地元鳥取県連においては、参加される方々を迎える準備をしておりますので、全国から会員各位の多数がご参加を賜りますようお願い申し上げます。

おりに、会員団体の一層のご発展と所属員各位の事業のご繁栄を祈念申し上げ、年頭の挨拶といった

平成25年 年頭の挨拶

高松市上下水道事業管理者 石垣 佳邦

新年明けましておめでとうございます。

平成25年の新春を迎えるに当たり、一言御挨拶を申しあげます。

日ごろ、高松市上下水道工事業協同組合の中川理事長様を始め、役員、そして組合員の皆様には、本市上下水道事業の普及推進と維持管理はもとより、円滑な事業運営に格別の御尽力・御協力をいただいておりますこと、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申しあげます。

本市では、一昨年4月に、窓口の一元化などお客様サービスの向上

第でございます。

を始め、効率的な事業運営と水行政の一体的な推進、さらには、東南海・南海地震に備えた危機管理体制の充実・強化を図るため、上下水道部門の組織を統合し、「上下水道局」が発足いたしました。

円高やデフレ、景気の減速傾向等を背景として、経済情勢は依然として厳しい状況にありますが、この一年が

高松市上下水道工事業協同組合員の皆

この組織統合を契機に、将来にわたり健全で持続可能な企業経営の実現に向け、上下水道事業のあるべき姿を見据え、経営理念や目指すべき方向性・取り組むべき施策を具体的に示した、事業運営の中・長期的

指針として、「高松市上下水道事業基本計画(高松市上下水道ビジョ

ン)」を昨年9月末に策定いたしたところでございます。

改めて申しあげるまでもございませんが、安全で良質な水道水の安

定供給と快適で安心な生活環境の提供、そして公共用海域の水質保全という、ライフラインを守る上下水道事業者としての使命を果たすとともに、「安心して、いつでも、いつまでも使える上下水道システムの構築」を目指した本計画を推進していくためには、卓越した技術力と豊富な経験をお持ちの皆様方との連携は不可欠であるものと存じております。一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申しあげる次



高松市上下水道局長 多田 弘二

新年明けましておめでとうございます。

平成25年の輝かしい新春を迎えるに当たりまして、御挨拶を申しあげます。

高松市上下水道工事業協同組合の中川理事長様を始め、役員ならびに組合員の皆様方には、常日ごろ、本市上下水道事業に対しまして、格別の御理解と御協力をいただいておりますこと、心から敬意と感謝を申しあげますとともに、年末年始の緊急時当番体制実施に当たりましては、格別な御配慮、御協力をいただき厚くお礼申しあげます。

さて、本市上下水道事業では、昨年9月に高松市上下水道事業基本計画(高松市上下水道ビジョン)を策定いたしましたが、この計画の目指すべき姿として、「安心して、いつでも、いつまでも使える上下水道システムの構築」を掲げております。本年は、まさしく上下水道事業が一体となつて、この計画を推進すべき年となり、職員も資質を高めながら、お客さまとの協働の取組を強化していくこと、また、局が情報発信を積極的に行い、本計画を実現させ具體化させていくかが、これから的重要な課題であると認識いたします。

のことから、上下水道工事業協同組合の皆様が、市民生活と社会経

済活動を支える上下水道事業運営の重要なパートナーとして、本計画の推進に、より一層のバックアップをお願いしたく思います。特に、近い将来の発生が予測されている東南海・南海地震に備えた震災対策訓練については、早期に共同実施し、危機管理体制の充実強化を図る中、災害に強い上下水道施設の構築を共々目指してまいりたいと考えております。

いずれにいたしましても、厳しい経営環境の下、安全で安定した水道水の供給と快適で安心な生活環境の提供を果たすため、組織一丸となつて取り組んでまいりたいと存じますので、貴組合におかれましても一層の御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、この一年が

高松市上下水道工事業協同組合員の

皆様にとりまして実り多き年となり

ますこと、また、貴組合のますますの御発展と組合員皆様方の御健勝を心

から御祈念いたしまして、新年の御

挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

高松市上下水道工事業協同組合 顧問 三笠 輝彦



明けましておめでとうございます。

輝かしい希望に満ちた平成25年がスタートし、高松市上下水道工事業協同組合の皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

日ごろから、皆様方には、本市の上下水道事業の普及促進に向けて、

技術の向上や経営の改善などに積極的に取り組まれておりますこと、厚くお礼申し上げますとともに、深く敬意を表する次第でございます。

さて、本市では、昨年9月に「安心して、いつでも、いつまでも使える上下水道を目指して」をテーマに、上下水道事業の中長期指針として、「高松市上下水道事業基本計画」を策定いたしました。これは、将来にわたり健全で持続可能な企業経営を目指すため、上下水道事業の経営理念を初め、課題や基本方針、実施施策などを一体的に取りまとめたものでございます。

は、東南海・南海地震の対策強化地域に指定されておりましたことから、東日本大震災を教訓に、上下水道施設の耐震化や対応マニュアルの見直しなど、大規模災害への対策が急がれており、その強化の観点からも、高松市上下水道工事業協同組合の果たす役割は、今後、ますます重要となつてまいります。

どうか組合員の皆様方におかれましては、一致団結し、水の安定供給を初め上下水道のさらなる普及促進と維持管理に、なお一層の御尽力を賜わりますようお願い申し上げます。

結びに、高松市上下水道

工事業協同組合のますます

の御発展と組合員皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新春の御挨拶とさせていただき

ます。

このような中、地震や渇水、大雨などの自然災害時や水質事故等の非常事態においても、市民の生命や生活維持のため、上下水道の最小限度の機能を確保することが求められております。特に、本市におきまして



天災は忘れた頃に…

(株)四電工 香川支店 中川 隆



水は不思議だと思いませんか。水(液体)を冷やせば氷(固体)に、熱すれば水蒸気(気体)になり見えなくなる。水は、水から出来ているのに、沈まず浮いています。なぜですか。

昨年、某工場に見学研修会に参加させてもらつた時に、冷蔵庫の中のペットボトルの水を注いだ瞬間から凍つていきました。どうしてですか。

解らないので調べてみます。近いうちに。

いつの頃の先生だったか忘れましたが、水は不思議ですよと、話されました。

「水はそつとやさしく接すると、やさしく返してきます。ブールに飛び込んだ時のように強く接すると強く返してきます。不思議ですよね。人と接する時は、相手が水だと思って接してください。」と。

なぜか頭の片隅にある印象深い話しです。

昨年の東北大地震では大変な衝撃を受け、被害の大きさと原発事故を含め、自然災害の恐ろしさを痛感しました。この災害で脳裏に浮かんだ事がありました。それは、香川県でも数年前に高潮が起き、多くの被害がありました。高潮発生の7ヶ月前の時、私はある現場の責任者で、いつもの打ち合わせ会議があり、打ち合わせの中である施主の一人が「地下階の事ですが、現在機械等関係も搬入されておりますが、高松でも高潮が昔あつたのですが、その対策は大丈夫ですか。」この言葉に全員があるはずがないという思いで、誰もその話題については触れませんでした。

その後に高潮が発生して、完成した建物の地下階にも海水が入り、悲惨な状況になりました。そして、応急の処置・復旧に向けて日々が続きました。今回の大地震も同じで規模や状況は違うにしろ、基本的には同じで人間はもう昔の事だと忘れてしまって、時間が長い程に気にしなくなります。やはり、「天災は忘れた頃にやつてくる。」といいますが、まさにその通りです。みなさんも目まぐるしい世の中ですが、たまには昔の教訓を思い出して将来に行かせる様に準備する必要があるのでないでしょうか。

(有)安西工業所 安西 明裕



協力会員紹介

Cooperation member introduction

「リクシルショールーム高松」

移転オープンのお話

株式会社 LIXIL 高松支店

西山 博孝



不斷水のパイオニア

コスモ工機株式会社 四国営業所

横手 隆



住宅用スプリンクラー開発記

前田バルブ工業株式会社 取締役防災事業部長

前田 崇統



会員の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜わり、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

さて、私どもリクシルが「INAX・トステム・サンウェーブ・新日軽・トヨエクステリア」の5社合併でスタートしてから、はや1年半が経ちました。

最近では、テレビCMもしているおかげで、ようやく「LIXIL=リクシル」と読んでもらえることが多くなつてきただことが本当にうれしく感じております。

そのような中で今年9月に、待望のリクシルショールーム高松がサンフラー通りの旧サンウエーブ事務所南方に移転オープンすることができました。

5社の共同ショールーム兼事務所なので、従来の約2倍規模の展示スペースをとっている上に、従来では話しをする機会の少なかつた水周り以外の商品もしっかりと展示しておりますので、社員、アドバイザーともに勉強しながら、日々多

くのお客様へのご提案をさせていただいております。
元INAXだった私自身も、今までですと「節水・節電」を中心とした提案が多かったのですが、最近は「断熱」というキーワードも交えてご来場のお客様に話しをする機会が増えて参りました。

こと世間でも、新築からリフォームに完全に需要をシフトしてきているため、家のお困りごとの解決方法を幅広く取り揃えた「頼れるリクシルショールーム」と言つてもらいます。ますます磨きをかけていく次第ですので、是非とも会員の皆様も一度お越しいただけますようお願い致します。社一同心よりお待ちしております。

平素は格別のお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

毎日の暮らしの中でも当たり前のように使える水の安定供給は、絶対に不可欠なものとなつております。それは各種産業においても大切な役割を果たし、瞬時でも供給が停止してしまうことは、生活の快適性や企業活動に多大な影響を及ぼしてしまうことでしょう。

当社は、創業年である1959年には管工事の施工性を飛躍的に高めた管切断機を開発し、業界における独自の地位を確保。そしてその機械にさらなる改良を加え、水道管の不断水穿孔機を開発し、現在の不断水工法の骨格を完成させました。

以後、既設管にバルブ・プラグを不断水にて挿入するインサートティング工法を開発するなど、数多くの実績を残しながら、不断水工法の進化を支え続けてきました。

現在に至つて、この蓄積された技術は、各事業体及び水道業界の皆様に広く愛され、高く評価されています。

水を始めとしたライフラインを守る使命を帯び、不

断水のパイオニアとして常に管路に対する熱意をもつて、様々な市場のニーズを敏感に把握し、信頼性の高い製品を供給すると共に、これからも新しい製品や工法を研究開発し、社会に貢献したいと考えております。

今後とも皆様のより一層のご支援ご鞭撻の程、まことにご注目ください。

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も、一層のご支援を賜りますよう、従業員一同心よりお願い申し上げます。

さて、前田バルブ工業は、創業以来、埋設水道配管を支える「サドル付分水栓」「継手」「止水栓」を柱に営業しております。

その得意分野の水道機器のひとつとして、かねてより水道を利用したスプリンクラー設備の研究をしておりました。

平成13年には厚生労働省より水道管と直結したスプリンクラーの設置が認められるようになりましたが、戸建住宅など設置できる部分が限られており水道連結型スプリンクラー設備の市場浸透にはとても時間がかかる状況でした。

平成18年1月、長崎県大村市のグルーブホームで火災が発生し、7名が亡くなられるという惨事になりました。これを受け平成19年6月、消防法施行令が一部改正され、グループホームなど火災発生時に自力で避難することが困難な人が入所する小規模福祉施設で水道連結型スプリンクラー設備を設置することができるようになりました。同時に設置基準も整備されたこの水道連結型スプリンクラー設置は安価でかつ短期間で設置できることもあり、広く一般的に知られるようになりました。

弊社ではグループホームなどへの販売を重ねながら蓄積したノウハウを一般住宅や幼稚園、寺院、工場へ設置可能な水道工事が主体となる住宅用スプリンクラー「SP-DR Y(エスピードライ)」の販売を開始いたしました。是非とも水道分野でチャレンジする前田バルブ工業の新しい取り組みにご注目ください。

ごあいさつ

(株)三溪設備 渡辺 光一



新年あけましておめでとうございます。

このたび青年部会を代表して新年のあいさつをさせていただきます(株)三溪設備 渡辺光一です。

平成24年は青年部としても10年目といった大きな節目の年でもあり第10回通常総会に始まり夕暮れコンサート、納涼会、10周年記念祝賀会、勉強会、研修旅行、ボランティア清掃といった多くの事業を行なってきました。中でも10周年記念祝賀会には多くの来賓のお客様に参加していただき無事行なえました。これもひとえに10年間支えていただいた中川理事長をはじめとする親組合の皆様、OBの皆様のおかげだと思います。ありがとうございました。

水明会とのかかわりも、もう何年になるでしょう。同じ職種の奥様達と歓談をし、勉強会をし、旅行にも行き、美味しいものも食べ、楽しかった思い出が沢山あります。この業界の婦人会(水明会)の方々は、とても仲が良いい人達で、入会して良かったと思っています。

水道屋に嫁いだおかげで、この年齢になつても仕事がいっぱいあります。毎日忙しく、頭を使い(パソコンです)日々を過ごしています。

これからも青年部会をますます盛り上げていきますのでご指導、ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。

これから

不二設備工業(株) 安藤 満喜子

水道工事に携わるようになり、早40年になります。その間、色々なことがありました。

水道屋になつたからには、配管工の免許くらいはもつていなくてはと思い、男性の方たちと一緒に、バーナーを持って試験に挑みました。

2回目でようやく合格できて、嬉しかったのを覚えています。現場にも出て、工事の後かたづけ、清掃、写真撮り等した事が、なつかしく思

い出されます。(若かつた…)

水明会とのかかわりも、もう何年になるでしょう。同じ職種の奥様達と歓談をし、勉強会をし、旅行にも行き、美味しいものも食べ、楽しめた思い出が沢山あります。この業界の婦人会(水明会)の方々は、とても仲が良いい人達で、入会して良かったと思っています。

高松市上下水道工事業協同組合 臨時総会

12月4日



組合研修旅行[九州方面]

11月22日-11月24日

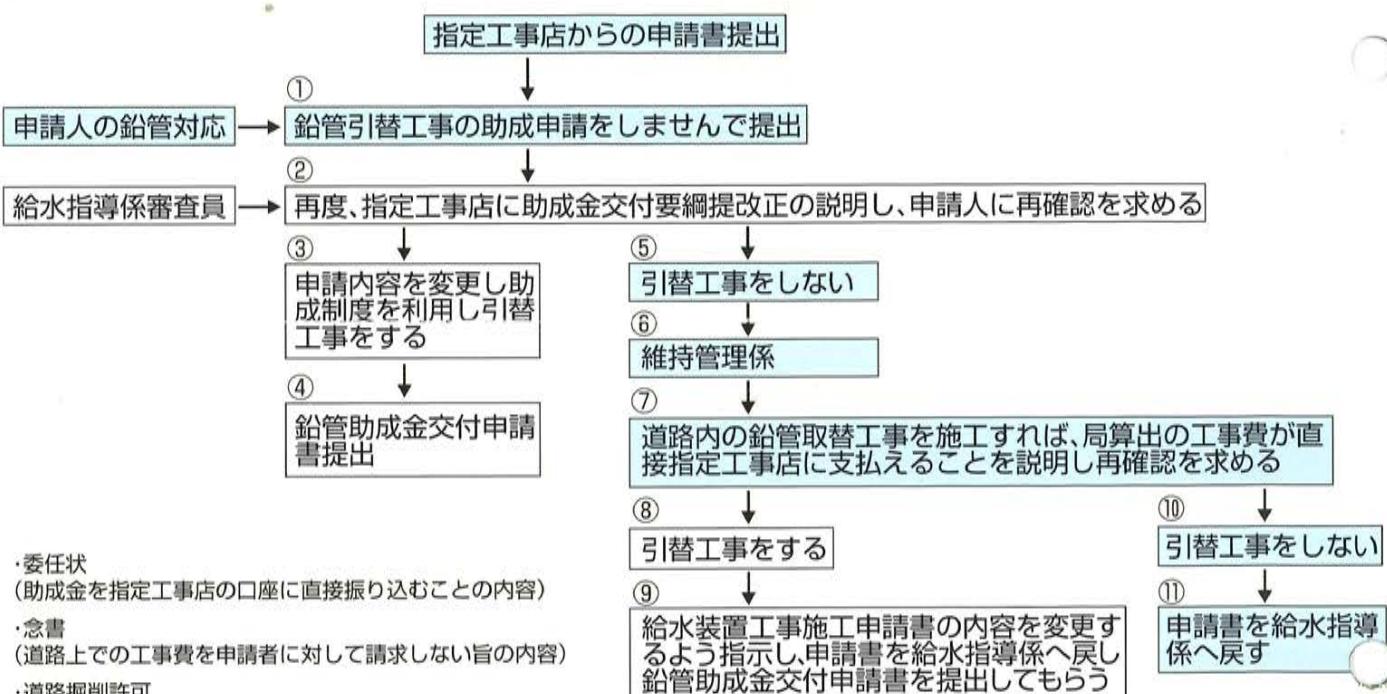




平成24年度 全管連会長表彰者(敬称略)

役員表彰	従業員表彰
岩井 孝博 岩井設備(株)	松永 正広 三信電気水道(株)
高木 新一 大高工業(有)	毛利 伊裕 (株)宝工業
藤澤 由晴 (有)藤澤水道工業所	溝渕 純司 (有)安西工業所
	綾井 健介 扶桑建設工業(株)本店
	浮田 浩之 (有)浮田設備工業所
	三宅 守 (株)高橋水道
	吉田 健二 (株)電工社エンジニアリング
	小瀧 一彦 太善工業(株)
	鳴川 知伸 (株)誠良興業
	後藤 友亮 大高工業(有)
	中井 真司 雉島工業(株)

給水装置工事施工申請書提出からの鉛管対策対応



平成23年度高松市上下水道工事業協同組合・会議

第三回理事会

開催日時/平成24年8月22日(水)11時30分～
開催場所/組合事務所 2階会議室
出席役員/11名
議案/(1)平成24年度組合防災訓練(9月2日)について
(2)報告事項・委員会報告・その他

第四回理事会

開催日時/平成24年9月27日(木)11時30分～
開催場所/組合事務所 2階会議室
出席役員/14名
議案/(1)平成24年度組合研修旅行について
(2)平成24年度登録配管基幹技能者講習会について
(3)上下水道との協議懇談会について
(4)報告事項・委員会報告・その他

三役会

開催日時/平成24年11月6日(火)15時～
開催場所/組合事務所 2階会議室
議題/(1)上下水道局との協議会について
(2)その他

開催日時/平成24年11月29日(木)15時～
開催場所/組合事務所 2階会議室
議題/(1)臨時総会(12月4日)について
(2)その他

トリムの祭典

開催日時/平成24年10月8日(月)9時30分～
開催場所/サンポート高松